

政策のフレームワーク:3つの視点を踏まえた政策の在り方

○従来の枠を超えたグリーン産業政策

- ・供給サイドから見た縦割りの産業政策ではなく、「グリーン」という横軸から捉えた融合的な新しい産業政策
- ・需要と供給の相乗効果を生み出す政策

○政府の機能と役割

- ①目標・ビジョンを見える化し、共有する(法整備、政府の導入目標提示)
- ②価格メカニズムが働く競争的な市場を創造する(公平・公正な市場ルール、規制・制度改革)
- ③新しい公共財／プラットフォームを整備する(スマートグリッド、ガスパイプライン網、水素供給システム等、エネルギーマネジメントシステム、国際的枠組み・国際ルール、規格・標準化)
- ④初期リスクを管理・補完する(官民パートナーシッププロジェクト(海外展開も含め)、開発・投資の支援、実証等による先導的需要の創出(国・地方が率先導入等))
- ⑤家計へのきめ細かな政策展開(エネルギー・環境教育、ラベリング、製品の普及支援)

(イメージ)政府は、市場を*level playing field*にし(公平・公正な市場)、ルールを決め(法制度・規制の設定)、必要であれば、線を引き(規格・標準化)、モデルゲーム(初期市場の創造のための先導導入施策等)を行う。

参加者が同じルールで、同じ環境で、プレイできるようにする。(政府の導入目標提示等によるコンセンサスと期待感の共有)

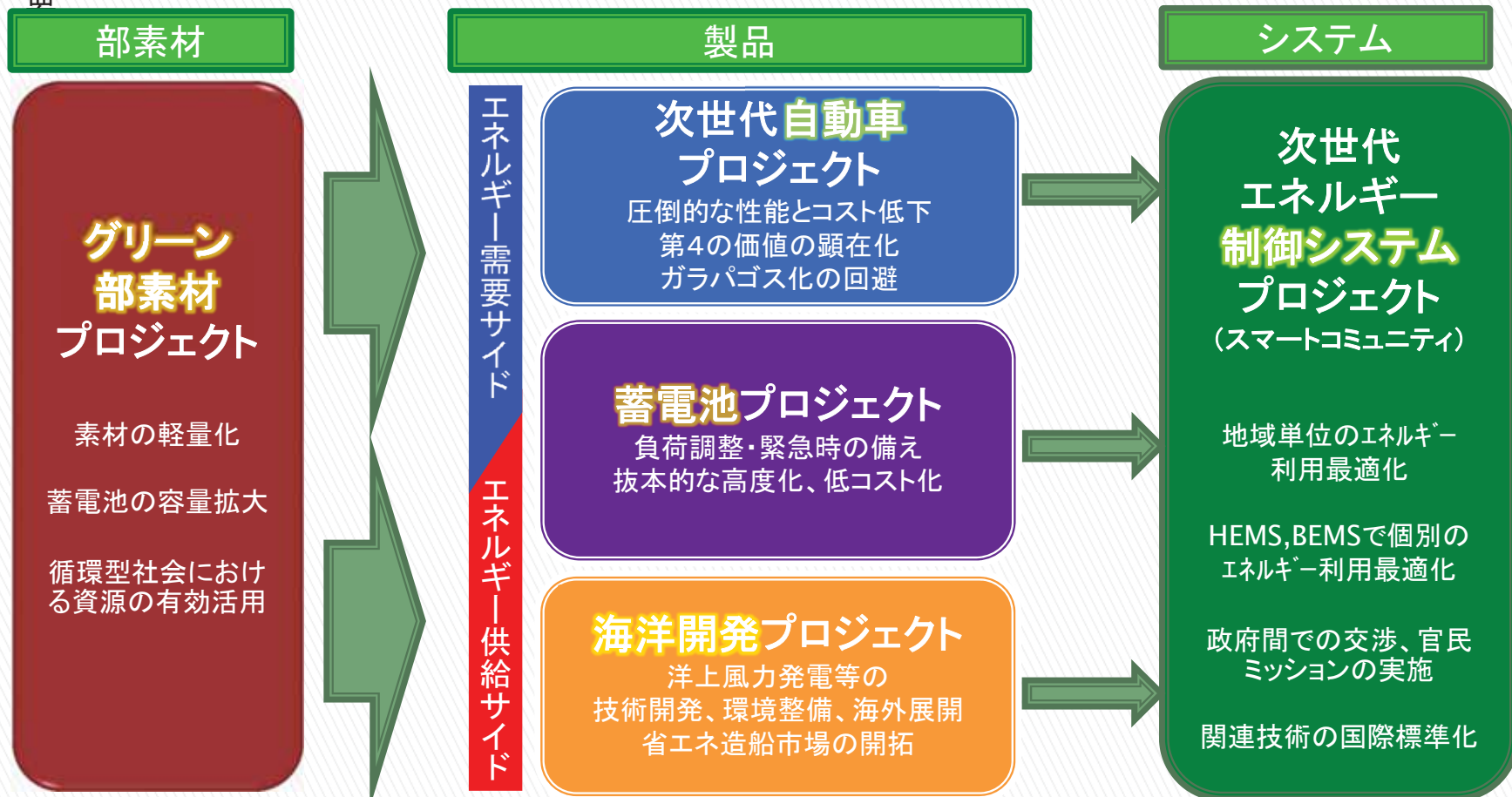
グリーン成長の先導的中核プロジェクト

6

「制約をバネに変える」
「家計が主役の社会変革を実現する」
「イノベーションの連鎖を起こす」
「内外一体で(Global)稼ぐ(Profitable)持続可能な(Sustainable)新産業を創出する」

そのようなグリーン成長の実例を示す『先導的中核プロジェクト』を集中実施

○以下のようにバリューチェーンの各段階で我が国の強みある産業に関する中長期的な戦略を描くことが重要



今後の進め方

○グリーン成長戦略パネルの拡大

- ・国内外の需要サイド、供給サイドなどの有識者、事業者への更なるインタビュー
- ・国内外の事例の研究

※グリーン成長戦略パネルでは、現在約40人以上の国内外の事業者や有識者の意見を集約

○政策の具体化

- ・過去や海外の政策の研究

○推進体制の強化(国家戦略室に「グリーン成長戦略チーム」を立ち上げ)

※科学技術イノベーションを達成するという目的で設置された「グリーンイノベーション戦略協議会」との連携強化により推進



7月 : 「グリーン成長戦略」を日本再生戦略の柱に

8月 : 革新的エネルギー・環境戦略で「グリーン成長戦略」の内容を拡充・展開

年末 : グリーン成長戦略大綱